

川口の提言 認知症予防施策としてコグニサイズを！

今回の一般質問では、『認知症になってからの支援』が中心施策になっている川越市に、『予防』という施策の柱をもう一本立てるべきだと訴え、具体策としてコグニサイズの推進を提言しました。

コグニサイズは、cognition (認知) とexercise (運動) 組み合わせた造語で、国立長寿医療研究センターが開発した認知症の予防の取り組みです。簡単な計算やしりとり等の課題を運動と一緒にすることで、脳の活動を活発にする機会を増やし、認知症の発症を遅延させることを目的とします。

愛知県大府市で行われた研究によると、軽度認知障害 (MCI) と判定された高齢者のうち、コグニサイズをしたグループでは、脳の萎縮の進行が抑えられていたことが発表されました。

市も、その効果を認識していましたが、今回は検討したいと述べるにとどまりました。

できることなら認知症は予防したい



平成24年に内閣府から報告された高齢者の健康管理について、「行政に力を入れてほしいことは何か」と55歳以上を対象として行った意識調査によると、「寝たきり予防」や「介護の方法」、「がん・心臓病・脳卒中などの生活習慣病」を上回り「認知症について」が最多で、多くの方が認知症についての施策に期待していることが示されています。特に55歳から64歳の年代でその傾向が顕著です。厚生労働省の推計では65歳以上の15%が認知症、軽度認知障害 (予備軍) が13%と言われており、その数は2002年から2012年の10年間で倍増しています。

認知症になってからの支援も必要ですが、できることなら認知症は予防したいと思いませんか？

行政に力を入れてほしい健康管理は認知症が36%で最多

議会を身近に！

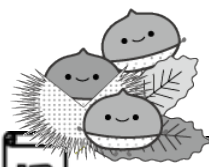
第38回川口けいすけ議会報告会

日時：12月4日 (日) 13:30~16:30

場所：東部地域ふれあいセンター会議室1

内容：9月議会報告、その他活動報告、皆様からのご意見・ご質問、など。

- * この報告会は後援会の集まりではありません。お気軽にお越し下さい。



掲示板



ご意見・ご感想、皆様の声をお聞かせ下さい。

★ ポスティング等ボランティア募集中！ ★

提案型地域情報誌グリーンズ川越は、2003年より政治を身近にしていこうための活動の1つとして始め、2007年からは議員活動報告をプラスし、私の考え方と共に皆様にお届けしているニュースです。なお、手配りのためにタイムリーにお届けできない場合がありますがご了承下さい。バックナンバーはホームページで見ることができます。ご希望の場合はお届けします。

